



4月 あひるぐみだよ！

春の陽気とともに、今年度の新しいクラスがスタートしました。初めての保育室、初めての保育者、初めての友達…見るものすべてが初めての物で、お家の人と離れる寂しさも忘れ、無我夢中で遊ぶ子が増えてきました。乳幼児期の大切な時期である2歳児は、食事・睡眠・トイレトレーニングなど自立へ向けた大きな一歩となります。子どもたちが健やかに成長できるよう、お手伝いさせていただきますので一年間よろしくお願いいたします。



あひるぐみの子どもたちは全員が初めての園…どの子もお家の人と離れるのは不安いっぱいのことだったでしょう。慣らし保育の数日は朝の登園時、泣く子がほとんどでしたが、おやつを食べたり、好きなおもちゃで遊んだり、少しずつ楽しいことが増えてくると、泣かずに登園することができるようになっていきます。



ままごとコーナーで遊んでいたAさんがぬいぐるみの口元にスプーンを近づけ「あ〜ん」とご飯を食べさせて遊んでいました。それを見ていたBさんも慌てて、もう一つのぬいぐるみを持ってきて、同じように「あ〜ん」と食べさせる真似をします。真似されたことに気付いたAさんはBさんに心を通わせたように、顔を見合わせてニッコリとしました。同世代の子ども同士の社会の中でいろんなことを学び、またお家では経験のできない喜びや葛藤を感じて大きくなってほしいと思います。



あれ？おかしいな？ ～こまった時にはこうしよう！～

4月になり、どんな友達と遊ぶのかな？楽しい歌をきかせてくれるかな？などドキドキして新年度を迎えられたのではないのでしょうか？そろそろ園の生活にも慣れ始めたころですが「あれ？こんなはずではなかった？」と首をかしげてしまうような困ったこともでてきたのではないのでしょうか

みんな、元気にいたいですね

仕事が終わって、やっと大好きな子どもに会える〜と思い、迎えに来てはみたが…園で緊張の中頑張っている子どもたちは保護者の方の顔を見るなり、甘えたりぐずったり、困らせているのではないのでしょうか？仕事に家事に育児に、いろんなことをしないといけない保護者の方は毎日帰宅後てんてこ舞いになっているのではないかと思います。

週末に夕食の下準備をしておく、レトルトや総菜をうまく利用するなど、夕方時間をうまくやりくりしたり、子どもと一緒に就寝したり、保護者の方がご自身をいたわることが子どもへのおだやかな関わりにつながりますよ。

どうしてけんかするのだろう？

2歳児は友だち関係を広げる一方で、自己主張のぶつかり合いが多くなり、噛みつき・ひっかき等のトラブルも多い時期です。しかしそれは「自我の芽生え」や「他人との関わり」が大きく成長している証でもあります。

友達とのトラブルが多い今の時期に大切なことは、子どもが自分の思いを受け止めてもらうことです。その過程で、自分自身を肯定し、相手への思いやりが育ちます。私たち大人は、受け止め役・仲立ち役を担うことが重要です。